

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227

広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781

<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成27年8月(2015年)No 596

## 第55回OMCフェスティバル出品作決まる

### 今回も全作品ハイビジョンの新作に

第55回目を迎えた今年のOMC映像フェスティバルは、9月20日(日曜日)に大阪市立中央会館で行われますが、このほど行われた幹事会で、プログラム編成が決定いたしました。今年も前年同様、全作品がハイビジョンの新作揃いで、観客の皆様にも充分ご期待に沿えるものと思っております。会員諸氏には観客動員のご協力お願いいたします。なお、ご来場の皆様を対象に開場前のひととき、「ビデオ何でも相談会」を企画しておりますので、お知り合いの方等でビデオに関心のありそうな方を誘ってみてください。

発表会共々成功裡に終わることを祈念しています。

日時：平成27年9月20日(日) 相談会 10時15分～11時45分

開場：12時30分 上映：13時～ 終了予定：16時40分

場所：大阪市立中央会館

上映作品：①春の雪五箇山・白川郷 9分 宮崎紀代子 ②お笑い神事 8分 野田邦雄  
③サンシミニャーノ 11分 華岡 汪 ④湖北のオオワシ 8分 江村一郎 ⑤四天王寺四季曼荼羅 12分 紙本勝 ⑥新野の雪祭り抄 15分 河合源七郎 ⑦高い所に 9分 有村博 ⑧最前線の島・金門島 11分 山本正夢(休憩) ⑨室の海に棹の歌(撮影会作品) 12分 森口吉正 ⑩森のコンサート 15分 進藤信男 ⑪消えた梅林 8分 吉岡貞夫 ⑫甦る大船鉾 15分 高瀬辰雄 ⑬合唱Ⅱ 6分 関 剛 ⑭余部に生きる 10分 前田茂夫 ⑮君の生涯・よく頑張ってきたね 21分 合原一夫

### 8月例会のお知らせ

■第2例会：第3木曜20日13時より 16時40分頃まで

■第1例会：第4土曜22日の18時より21頃まで

■場 所：大阪市立難波市民学習センター(JR難波OCATビル4F)

まだ暑さ厳しい時期ですが、会場は冷房が効いています。どうぞ涼しい例会場で楽しいひと時を過ごしましょう。

## 7月例会レポート

大阪天神祭の頃が一番暑い頃と云われますが、丁度例会日の25日がそのお祭り日で成程暑い日でした。

今月の司会は進藤氏、書記、河合氏、映写、井上氏、録画、江村氏、受付兼照明係、宮崎、森下の両氏、掲示は紙本氏の担当で進行しました。

■出席者：有村、井上、江藤、江村、岡本、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、華岡、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本、吉岡、吉村、渡辺、井脇、西村亀雄の24氏と15作品。

■上映作品（今月の講評は河合世話役）

### 1. 河内音頭

岡本至弘 8分20秒

数ヶ月前から新しい世界に挑戦しておられた岡本さん、東大阪市市民文化芸術祭の河内音頭を、エディウスで編集されました。流石は8ミリ時代からの作家、纏まっています。あとはトランジションやエフェクトなどを導入して作品に変化を付ける段取りでしょうがこの辺りは昔取られた杵柄問題無いでしょう作者の今後の作品展開が楽しみです。

### 2. 廃線ぶらり歩き No.1

紙本 勝 11分25秒

JR や私鉄の廃線跡は、全国で500カ所もあるとか。作者は数カ所を選んで歩き、独自の目線で撮影されて作品に。関西線加美駅から阪和線杉本町間の貨物線の線路跡は柵があって入れず、住民との対話が弾みます。たまたま空いていた柵の隙間から入れた作者は、廃線跡地の生々しいレポートを展開されます。一方名鉄揖斐線跡では、「中之元駅」の駅舎が残り、「よりよい環境を求めて 大野町」という看板があり、黒野駅跡は「レールパーク」という公園に。市民が楽しく利用出来る廃線跡地を目指している様子が印象的でした。

### 3. サンジミニャーノとピサ(イタリア)

華岡 汪 10分40秒

イタリアを旅する作者は、今回フィレンツェから50Kmほど南のサンジミニャーノの街を訪れました。ここは、12~14世紀に建設された古い町並みや数多くの塔が、良い状態で残っています。サンマッテオ通りでは世界遺産の建物の中で、酒や土産物が売られて

います。生活感のある世界遺産です。続いて斜塔で有名なピサの街へ。斜塔の内部がこれまた素晴らしい、初めて知りました。観光客は多いが土産物を買うだけ、傷む塔の修理費も出ないとか。日本の安易な観光客誘致への警鐘の一つと受け止めるべきでしょう。

### 4. プラハ カレル橋の人々

井上勝彦 10分47秒

「スマホをスタビライザーに付けて、撮影したらどうなるか」というテーマで、プラハのカレル橋の風景を撮られた実験映像です。

6月に発売された最新鋭機種 Galaxy 56 edge を、先月の例会で披露されたスタビライザーにつけ、スマホの手振れ防止機能はオフ、総てオート撮影 (Galaxy はオートとマニュアルの選択が出来る優れもの) だと思われれます。映像は無編集とありますから、一本撮りの素材そのものでしょう。例会では時間がなくて議論不足でしたが、私の見るところホームムービーや緊急性を要する記録映像では十分実用性があると思いました。今後は大画面での上映にどこまで耐えられるかの検証が必要でしょう。色彩の表現力は良いと思いましたが、小口径レンズで画面の平板化は避けられず、動態のフォーカス追従状況にも疑問を持ちました。三脚を使用したらピントは良くなるか、レンズのF値は1.9に向上したらしいのですが、夜間撮影の適応力やパンニング時の画面の乱れなど、更に検討が必要かと思いました。

### 5. 高い所に

有村 博 9分13分

アベノハルカスをいち早く映像化された有村さんが、今回は24年5月の開場以来満員が続く東京スカイツリーを訪れました。入り口風景からエレベーター、展望デッキ、展望回路とこまめに繋ぎながら、俯瞰撮影では建物や川の名称をテロップで克明に紹介されて、流石だと思いました。

有村さんの想いは、昨年開業のアベノハルカスに、更に海外の高層ビルを訪れた思い出に飛びます。カナダのトロント、ナイアガラ、NZのオークランド、などなど。アルプス等高い山に数多く登ってこられたことも承知していましたが、これほどまで「高い所」に拘っておられるとは知りませんでした。題名の「高い所に」も理解出来ました。しかし最後に出た「阿呆と煙」の格言には驚きました。

## 6. 湖北のオオワシ

江村 一郎

7分30秒

オオワシは夏に東ロシアで繁殖し、冬になると朝鮮半島。カムチャツカ半島、北海道などに飛来しますが、南限地は湖北とか。作者はこの鳥を、厳寒の湖北に追っかけられました。撮影可能場所から遙か離れた場所に棲息するオオワシの映像をキャッチするのは大変です。きっと何度も行かれたことでしょう。

厳しい寒さの中で、オオワシの飛翔を求めて待ち構えるカメラマン達、高い木に止まって悠然と刻を過ごすオオワシはまさに鳥類の王者です。

突如オオワシが飛び立ちました。両翼を拡げると2メートルを超えるオオワシは、スピードも速く、追っかけるカメラも大変。それでも我が家(巣)に帰って来たオオワシは悠然と周りを睥睨していました。「オオワシが北へ帰ると琵琶湖に春がやってきます」のテロップが出て終わるエンディングは素敵でした。

## 7. 貴船祭

森口 吉正

12分40秒

清らかに流れる貴船川の畔に貴船神社があります。緑したたる6月1日、石段を神輿が降りてきます。今日は貴船神社のお祭りです。貴船神社本社の氏子は僅か20軒、お祭りは全国にある貴船神社の分社の氏子によって支えられているそうです。

神輿は町内の巡行に出て行きますが、その間に奥宮の成立や船形石の伝説が語られ、その石を「おせんどんどん」と唱えながら巡る「子供千度まいり」が紹介されます。祭りの目玉は、分社島根県安来の貴布禰神社の出雲神楽の奉納です。今年の演目は「山神」、石見神楽と違って出雲神楽に派手さはありませんが、見るチャンスは滅多にありませんので、興味深く拝見しました。

やがて神輿は神殿に還って行きますが、如何にも京都らしい上品なお祭りでした。

## 8. ぶらり万博公園

前田 茂夫

5分30秒

花満開の万博公園を、作者の MIDI を背景に、題名通り「ぶらり散歩」の映像です。太陽の塔を背景に満開の花が咲き乱れ、日本庭園では 鯉、亀、オシドリのパレード、スケッチをする人もいます。やがて緑したたる林の中、橋を渡って再び太陽の塔と出逢います。如何にも心和む「ぶらり散歩」でした。

## 9. 金門島

山本正夢

11分15秒

ご承知のように、1945年8月の日本軍降

伏後も、中国内部では共産党と国民党の争いが続いていました。翌年国共内戦が再発、台湾に逃れた国民党は、蒋介石が復帰して中華民国を継続させ、台湾を支配するようになりました。そして1958年8月、中国大陸と2.1kmの至近距離にある金門島を中国人民解放軍が侵攻しました。戦いは台湾側の頑張りで勝利となりましたが、この紛争は1979年まで20年も続いたと言います。

今回作者はこの金門島を訪ね、町の平和な様子を紹介したあと、バスターミナルに続く「金城民防坑道展示館」を訪れます。この坑道は、防御のために市民自警団の手で掘られたもの、更に防御戦闘の生々しさが展示で見ることが出来ます。大きく映る「河山還我」の4文字は「私たちの海や河を返せ」の意味だそうです。最後に「このように市民が見れる軍事施設は一部で、まだ未開放の地区が多くある最前線」のテロップでEndです。

現今の我々をとりまく環境と相俟って、いろいろと考えさせられる作品です。

## 10. 御座船

渡辺 雄史

8分

「大阪夏の陣400年天下一祭」のイベントの一つとして、大阪城内堀に豊臣秀吉に因んだ「黄金の御座船」の運航が始まりました。

筆者も若いとき、若葉や紅葉の頃にこの堀に船を浮かべたらどんな景色が目に入るかなど、夢見たことがありました。周りを取り巻く石垣は、想像以上に高く豊かな水量と相俟って、なかなか見応えのある風景でした。

しかし、御座船が如何に黄金造りであろうとこの「内堀巡り」は単調です。大阪城も、石垣も様々な物語を持っている筈です。主催者に「もう一段工夫を」と訴えたいのは私だけでしょうか。

## 11. 当麻寺周辺を巡る

吉村 健一

12分56秒

昭和20年8月15日、私はこの当麻寺門前町の民家で「終戦の詔勅」を聞きました。当時中学3年生だった私は、当麻寺の奥山に軍需工場を建設すべく動員されていたのです。蟬時雨の中で聞いた詔勅のお声は今も忘れられません。当麻寺は私にとって忘れ得ぬ寺であり、昔なじみのこだわりの土地だったので、ついつい脱線しました。お許し下さい。

さて、作者は古代国道1号線として日本書紀にも登場する竹之内街道の東端、長尾神社を出発して当麻寺を訪れます。当麻寺には白鳳時代の梵鐘、石灯籠が残り、更に奈良時代と平安初期につくられた古い東西双つの塔が揃って残っているのは日本で唯一此処だけです。また金堂とは別に本堂があって、中将姫伝説に彩られた「当麻曼荼羅」が展示され(展示されているのは国宝の原本でなく複製本)、多彩な仏像群と合わせ、我が国古代文化の宝庫です。

作者はこれらの文化をもれなく作品の中に織り込んでおられます。しかし、綿弓塚や当麻蹴速の五輪塔は、あるにはあるのですが内容はあきません。従って綿弓とボランティア、相撲会館を削除して、竹之内街道の風景と当麻寺文化に集中して纏められたら、作品は一段と引き締まったものになるのではないのでしょうか。

## 12. 祇園祭り大船鉾弾き初め

高瀬 辰雄 8分

昨年150年ぶりに復活された大船鉾が、一年振りに登場しました。まずは鉾建てから水洗いから乾拭き、油を塗って飾り物の取り付けと、綿密な取材ぶりには頭が下がります。すべて近接撮影ですから、細部まで良く分かり、組み立て振りの貴重な文化資料としても生きるでしょう。

「曳初め」には誰でも参加出来るとあって熱気が盛り上がり、400メートル往復して準備万端完了、いよいよ宵宮を迎えます。それにしても、20日に撮影して25日の例会で上映とは、手慣れたテーマとはいえ、まさにテレビ局並みの早業ですねと感心しました。

## 13. 消える梅林

吉岡貞夫 8分9秒

伊丹市緑が丘公園の梅の木が「ウメ輪紋病」というウィルス病にかかって、花の咲き終わりを待たず急遽伐採されることに。最後の満開の花に別れを惜しむ市民達の姿、そして三十数年手塩にかけて成長したウメの木が、花をつけたまま伐採されるという無残な風景が展開されます。3ヶ月後、立ち入り禁止の公園は草が生え茂っています。公園の今後は一体どうなるのでしょうかと問いただした作者に、市当局の回答は典型的な官僚の事なかれ発言であったようです。

## 14 近江八景水郷巡り(DVD)

井脇 努 8分55秒

OVCから今回入会されたお一人です。野鳥の撮影で有名な方ですが、今回は近江八幡の水郷巡りの作品です。満開の桜の下、水郷巡りの船が出発します。桜は満開でもまだ早春なのでしょう、川べりの葦は枯れ姿が殆ど、野鳥はまだ姿を見せていません。やっと芽吹きの新緑が姿を見せ、やがて花盛りの菜の花が展開します。

乗船者の視線の映像と、湖畔から見た水郷巡りの船や客の映像を巧みに絡ませて、春の水郷巡りの楽しさを演出されていました。

## 15. ジャズ・イン・マルシアック

江藤 洋司 6分34秒

江藤さん、先輩から「テロップをもっと解るように」との教えを受け、努力されたようですね。説明のための長いテロップが増えて、作品が解りやすくなっていました。

そこで今回は、映像の配分ということについて少し考えて見ましょう。上映された作品では、行き着くまでの苦労の映像が2分40秒、目的のフェスティバルの演奏は2分10秒、会場風景と合わせても3分30秒です。ジャズ・イン・マルシアックというフェスティバルはヨーロッパでも有名だそうですね。

それならば苦しかったイントロは1分程度に縮めて、友人のワイン売り場の働きぶり30秒、フェスティバルの会場演奏3分、会場の雰囲気描写が2分、帰りも大変だったというエンディングが30秒、計7分位で纏めれば、テロップも少なく済み、ビデオを見る人も日本では珍しい催し物「ジャズ・イン・マルシアック」を、堪能することが出来るのではないのでしょうか

## ■映写担当からのお願い

- 1)円滑な頭出しのため1作品を1枚のBDまたはDVDに焼いてください。
- 2)例会作品及び公開映写作品とも、必ず頭に5秒間の黒リーダーを付けてください。理由は同様にスムーズな頭出しの為です。理由は同様にスムーズな頭出しの為です。理由は同様にスムーズな頭出しの為です。理屈では白リーダーでもいいのですが、OMCでは全作品を黒に統一したほうがいいでしょう。カラーバー及びカウントダウンマークは人様に見せるものではありません。使わないことです。以上よろしくお願ひします。

## OMC第2例会新発足

### 初回は18名出席と10本の作品でスタート

OMC第2例会はウィークデーの昼間、7月14日13時より、OMC例会場と同じく大阪市立難波市民学習センター第4研修室で開催されました。当初、何人の方が出席されるのか心配されましたが、予想以上の人が集い、作品も15分を越す長編ものが何本かあって、10本の作品を上映し終えるのに16時を回ってしまいました。それだけ、司会の柴辻氏が一本一本丁寧な司会をされた結果ではありますが、パソコン関連の勉強会を始めようと準備をなされていた進藤世話役には、申し訳なかったと思っております。

### ■第2例会の位置づけについて

- 1) 高齢化とともに、夜の外出がしんどくなってきたが、昼間の例会なら出られる人
- 2) 駅まで車で来るが、夜の運転が自信をなくしたので、昼間なら助かるという人
- 3) 作品をもっと丁寧に講評なりほかの人の意見を聞きたい人
- 4) 全国コンに出したい作品について、細かい点まで助言してほしい人
- 5) 作品の作り方についての勉強会を期待している人。作品構成、脚本の書き方、録音、選曲、効果音等について等々
- 6) パソコン編集関係のハードな面で教わりたい方

第2例会は、時間が実質30分以上長いので、時間がありますので、その分いろんな面から有効な時間に使えると思えます。

皆様方のご協力ご支援のもと、第4土曜日の夜の例会共々、よろしく願いいたします。活かすも殺すも皆様方次第です。

### 7月第2例会レポート

今月は初めての会と言うことで、OVCだけの会員さんで、今回OMCに移籍された方3名の方の紹介が行われました。

- ・柴辻英一さん(堺市)元 OVC 世話役
- ・植村朝一さん(大東市) //
- ・井脇 務さん(高石市) //

今月の司会は早速、柴辻氏、書記、合原氏、デッキ係、河合氏、録画、江村氏、受付兼照明係、宮崎、井脇の両氏、掲示、紙本

氏の担当で進行しました。

■出席者:赤澤、有村、井脇、植村、江村、河合、紙本、合原、柴辻、進藤、関、高瀬、鉄具、野田、前田、宮崎、森口、山本の各氏18名。

■上映作品(今月の講評は合原会長です)

#### 1) 輪廻転生 (BD)

有村 博 6分56秒

4:3時代につくられた特殊技術を使って表現された映像をベースに、仏教的思想を示す「輪廻転生」の題名を冠して作品にされたもので、有村氏ならではの作品です。

ミラージュと多面ガラスを等を使った特殊表現は、最初拝見したときは、こんな映像表現もあったのかと、驚きの声をあげたものです。素材は殆ど花で、画面からはとても「輪廻転生」のイメージは湧いてきません。BGMも明るいので、むしろ楽しさを感じられるものです。まあ、楽しく拝見して頂けたらそれでよし、といった作品でしょうか。

#### 2) マンホール紀行・第1編 (BD)

紙本 勝 11分15秒

各地を旅行される時、その土地のマンホールを撮り溜めされていたようで、それを纏めた作品。その土地の特徴を示すマンホールの絵のデザインは、なかなか力作が多く、見ていて楽しくなります。撮り溜めてある多数の素材の中から、欲しいカットを選び出すには、普段から素材を細かく整理しておかないと、うまく編集できません。作者は素材の整理という点でも大変几帳面な方だと言えます。全5編とのことで今回は北海道・東北編でした。いろんなデザインのマンホールの絵にしばし楽しく拝見しました。

#### 3) イスラエルの聖地・マサダ城 (BD)

山本正夢 7分00秒

作者の個人旅行で今回は世界遺産にも指定されているイスラエルの聖地・マサダ城を訪ねられました。私たちでは行けないような珍しい世界のあちこちを見せて頂くので、山本作品は楽しみです。BGMはユーチューブよりダウンロードして使っているということですが、よく雰囲気マッチしていました。

#### 4) 秋の高山祭 (DV・W→BD)

井脇 務 9分45秒

平成19年10月に撮影されたDVのワイド

で撮影したものを、この度BDにして持参したということですが、画面はHDV並みのきれいさでした。からくり人形の動きをカメラ位置固定で撮影されています。ムカシの人の技には驚くべきものがあります。

さて、この作品、録画担当の江村氏によるとコピーガードがかかっている記録ができなかったと例会では初めての”大事件”が発生。これからもこういうことが起こると困るなあと、担当者間でつぶやきの声がありました。作者の井脇氏もワケが判らず困っていました。恐らくローランドの機械からBDにするときの録画機器操作の手違いだったのではないかと、ということに落ちつききました。

#### 5) 東京スカイツリー (BD)

江村一郎 6分35秒

3週間ほど前に東京で日本アマチュア映像作家連盟の総会が行われたときの撮影で今日の午前中まで編集をやっていた、という新作ホヤホヤの作品。東京スカイツリーの展望台の雰囲気や下界の様子など、字幕を入れて判り易く描かれています。下界へ降りて展示コーナーで、新国立競技場の話題を字幕で語っておられるが、展望台から見えた筈の現在、とり壊されている競技場を望遠で撮って欲しかったと思います。5年後の新国立競技場の姿は果たしてどうなっていることでしょうか。

#### 6) ある駅長さん (BD)

前田茂夫 6分48秒

4月例会で発表された「ある駅長さん」は12分48秒の長さでしたが、この作品を全国コンに出したいと、あえて7分以下に縮められた作品。それだけに駅長さんに絞って構成されています。兵庫県北条鉄道の法華口(ほっけぐち)の名物ボランティア駅長さんで、テレビでも取り上げられたことがあるそうです。

それにしても駅長さんの任務は乗降客への対応が主な筈なのに、肝心の乗降客の姿が一人も出てこない、というのは淋しい。乗客を乗せた列車を手を振って見送るという素敵な行動が、何となく生きてこない気がします。また、二度目に訪ねて行ったとき主人公の駅長さんがお休みだった、というくだりは省いた方がよいと考えます。パン屋さんの仕事を中心として描かれています。駅長さんとしての気遣い、例えばホームでのゴミ拾いとか、改札口あたりの掃除とか、一寸した動作がインサートされれば入賞間違いなしと思う

のですが。もうひと工夫頑張ってください。

#### 7) 青森ねぶた (BD)

赤澤與三郎 20分00秒

6月第1例会で持参されたが、長編のため、5分間だけ上映して中断、再度第2例会での上映となったもの。河合氏の評によれば青森ねぶたは同じ大きさのねぶたで、観客と祭りをを行う側と分離されていて、唯同じようなねぶたを延々と見るだけで、東北の祭りの中では1番面白くないとのこと。この作品は要所所を切とって数分にまとめたらいいと思う、とのこと。同感です。

#### 8) 雅なる堺 (BD)

高瀬辰雄 16分30秒

舞台行事の記録を頼まれて、一人で同じ場所から撮られたとか。ご苦労様でした。

舞台行事の記録をするのが如何に難しいかを感じさせてくれる映像でした。

#### 9) 古ムーンの思い出に (BD)

柴辻英一 5分00秒

何歳になっても、いつも奥様思いの柴辻さんらしい作品。エンドマークは「あゝ、照れくさい」とありました。それにしても奥様のお若いこと、仲むつまじく撮影に興じておられるお二人の姿が思い浮かびます。

#### 10) 3カメで撮りました (BD)

鉄具嘉夫 4分30秒

この映像も依頼されて撮影されたものでしょうか。枚方フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会のアンコール曲、ドボルザーク作曲「ユーモレスク」変ト長調の演奏だけを纏めて持参されたものです。3カメをお一人で撮られた由で、編集も含めて大変ご苦労された様子が伺えました。

